## ログブックの作成

RaMS 冷媒管理システム ログブックの作成	ログブックを作成する方法について説明します。 <i>ログブックは管理者自身かまたは充塡回収業者が作成し ます。</i> ここでは充塡回収業者が管理者に代わり作成する場合を 説明します。
システムでログブックを作成・利用するには、 機器に対応した機器管理番号を 付番する必要があります。	システムでログブックを作成し利用するには、一つ一つの 機器に対応した機器管理番号を付番する必要がありま す。
	システムのログイン画面を開きます。 ここでは、充塡回収業者がシステムにログインしてログ ブックを作成します。
	ログイン画面に充塡回収業者のIDとパスワードを入力して システムにログインします。
	充塡回収業者のメインメニューが表示されます。
	メインメニューの「ログブック新規作成・追加登録」のボタン をクリックします。
	<section-header></section-header>

7	機器管理番号取得・入力方法のボックスが表示されます。 <i>あらかじめ</i> 購入してあるシールの機器管理番号を入力す るか、システムから新規に自動採番するか、どちらかを選 択します。
8	ここでは、新規取得(自動採番)の例で説明します。 なお、あらかじめシール等で管理番号を購入された方は、 左の「管理番号入力」をクリックして、開いた画面に番号を 入力すると次のログブック新規作成画面が開きます。
9	ログブックの新規作成画面が表示されます。 1表には、管理者や機器の情報を入力します。 2表には、充填量や回収量など機器の点検・整備の記録 を入力します。 なお、2表は作業を行った充塡回収業者しか入力できませ んので、管理者が作成する場合は1表のみが表示されま す。
10	施設管理者の情報は、管理者の事業者コードHプラス数 字9桁を入力すると自動 <i>的に</i> 表示されます。 <i>ま</i> た2回目以降は、 <i>事業者コード入力ではなく、</i> 履歴から 選択して入力できます。
11	施設名称は、機器が設置されている施設の名称・住所を 入力します。 事業所登録での事業所名と同じであれば「会社情報から 取得」で入力できます。 また一度登録した施設名称は、「履歴から選択」で入力で きます。
12	系統名には、エリア名や管理者が命名した名前や番号な ど、機器を特定しやすい情報を自由に入力できます。

13		設備製造者は、機器のメーカー名をプルダウンメニューか ら選択して入力します。 また、設置年月日は、機器が設置された年月日を入力し ます。
14		使用機器の分類と用途を入力します。
15	日本日本 日本日本   日本 日本日本   日本 日本	使用機器の分類は、プルダウンメニューから選択します。
16		機器の分類に合わせて、用途を選択します。
17	ARRACELERATING PARTICULATION CONTRACTOR CONTRACTON CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACT	型式、製造番号、圧縮機の原動機の定格出力、 使用冷媒、出荷時初期充填量を入力します。 特に使用冷媒は、一旦登録すると変更できなくなりますので、間 違えないように注意してください。 また製造番号は、銘版から読み取れないようでしたら、管理者が 付けた番号や名前でも結構です。 これで、1表の入力は完了です。管理者の場合は、1表の入力で 機器の新規登録が完了です。
18		充填回収業者の場合は、続けて2表を入力します。 管理者が作成する場合は、2表の入力はできません。1表 完了後は画面下の「確認画面へ」をクリックします。 充填回収業者がRaMSへの登録を行えない場合には、管理者が 受取った紙の作業報告書の内容をログブックに転記できます。 転記するには、管理者がログインしたログブック一覧の、操作欄 にある転記ボタンをクリックします。

19	* 2000 20 CPU	ログブックを新規登録する際には、「点検・整備区分」として「設 置時追加充填量」しか選択できません。 機器の設置時に配管延長などで、追加の充填があれば入力しま す。 追加充填がなかった場合は、ゼロを入力してください。 もし設置が何年も前のことで、追加充填量の記録が残っていない ような場合は、推定値でも結構です。
20		作業請負者社名には、ログインしている充塡回収業 者の名称が表示されます。
21	a. status status	最後に充塡回収業者の担当者および責任者の氏名を入 力します。 責任者とは管理者への報告窓口の方であり、作業を行っ た担当者の氏名でも差し支えありません。
22		整備者が入る場合は、「整備者あり」にチエックして入力します。 整備者とは、管理者と充塡回収業者の間に入る設備業者や建設業者、商社等を指し、2者まで記録できます。 記録する整備者にはあらかじめ「取次者・整備者」として事業所登録をして戴き、その事業者コードで入力します。
23		入力が完了したら、最後に画面下の「確認画面へ」のボタ ンをクリックします。 管理者が作成した1表のみのログブックに設置時追加充填量を 入力するには、改めて充填回収業者に依頼するか、または管 理者が転記機能で入力します。
24		確認画面が表示されます。

25	<section-header></section-header>	内容を確認して、「承諾依頼」のボタンをクリックします。 管理者が作成する場合は承諾依頼はありませんので、そ のまま「登録」ボタンをクリックして登録完了です。
26		「承諾依頼」のボタンをクリックすると、課金を確認するメッセージ が表示されます。 「OK」ボタンをクリックすると所定のポイントが課金・消費され、同 時に承諾依頼のメールが、管理者に送信されます。 なお、機器管理番号をあらかじめ購入している場合は、設置時 追加充填量の登録までが番号購入費に含まれています。
27	Image:     No.     No.	画面が切り替わって、ログブック一覧が表示されます。 作成したログブックの状態は、利用可能(承認待ち)の表 示になっています。
28	Re26年: 西参数: (0) 本記 密管理参考 (325年8月): 423-484-1911(400) 医数型: (40) 本本語 アトロングの特徴: (741日世大会会)、 ・日本語 アトロングの学校に行用きるご単成の)、発生当参告をおしくたさい、 におし、T200コプラック5株に行用きるご単成の上、発生当参告をおしくたさい、 ・日本: 単語に対応・「1485-1915-1915-1915(1) ・日本: 単語に対応・1915(1) ・日本: 単語に対応・1915(1) ・日本: 単語に対応のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	こちらは、管理者へ送信された承諾依頼のメールです。 管理者は、メールに記載のURL をクリックします。
29	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ここからは、管理者が承諾する要領になりますが、管理者 がメールのURLをクリックするとシステムのログイン画面が 表示されます。
30		管理者は、ID とパスワードを入力してログインします。

31		充塡回収業者が入力したログブックが表示されます。
32		管理者は、データを確認して氏名を入力します。
33		氏名を入力したら、「確認画面へ」のボタンをクリックして確 認画面を表示させます。
34		確認画面で再度内容を確認して、「登録ボタン」をクリック して登録します。
35	承諾する前には、 確認画面が表示されます。 登録内容を必ず確認してから <b>登録</b> ボタン をクリックしてください。	承諾する前には、確認画面が表示されます。 登録内容を必ず確認してから、「登録」ボタンをクリックして ください。
36		「OK」ボタンをクリックします。これにより管理者がログブッ クを承諾したことになります。

37	1 2000 100000 (100 100 100 100 100 100 100	充塡回収業者のログブック一覧に、新規登録したログブッ クが登録・表示されます。 また同時に、管理者のログブック一覧にも同じものが登 録・表示されます。
38	終	以上で、終了となります。